

学校法人後藤学園 中医学教育臨床支援センター

中国伝統医学(Traditional Chinese Medicine)が世界に認知されつつありますが、後藤学園は1983年には北京中医薬大学と、1987年には天津中医薬大学と学術交流提携校となり、日本で最も早く、東洋医学教育のなかに中医学を導入しました。また最新の中医専門書の翻訳・出版から始まり、中国天津中医薬大学とは共同執筆により日本で初めて鍼灸のための中医学テキストシリーズを教育支援を目的に出版いたしました。近年は認知症関連・社会連携事業にも力を注ぎ、認知症の人に対するケアとキュアのコラボレーション・モデルの構築をはかるべく、医療連携、地域連携、施設連携の拡大と強化をはかっています。

海外学術交流

学術提携校

北京中医薬大学とは1983年8月から、天津中医薬大学とは1987年8月から学術交流提携校となる。教員の相互派遣、教材の共同作成、学生の研修旅行、卒業生の留学、編入学制度など多彩な学術交流を行なっている。



北京中医薬大学



天津中医薬大学

認知症関連・社会連携事業

文部科学省戦略的基盤研究社会連携研究事業

認知症国際フォーラム・パネルディスカッション：「認知症に東洋医学が挑む」



左から総合司会の宮川泰夫氏(フリーアナウンサー・元NHK)
兵頭明(後藤学園中医学研究所所長、天津中医薬大学客員教授)

韓景献(天津中医薬大学第1附属病院院長)
張允嶺(北京中医薬大学神経科学教授)
水上勝義(筑波大学大学院精神病態医学分野准教授)
秋葉哲生(あきば伝統医学クリニック院長、慶応義塾大学客員教授)

この模様は、2009年11月29日(日)NHK教育テレビ『日曜フォーラム』で全国放映された。

- 平成26年度文部科学省委託事業(認知症専門鍼灸師育成) ⇒
- 平成27年度文部科学省委託事業(認知症専門鍼灸師育成)
- 一般社団法人老人病研究会との連携事業
認知症Gold-QPD育成講座の開催(平成21年～平成30年)

認知症の人のための医療連携事業

ケアマネジャー・ソーシャルワーカーとの交流
(スウェーデン大使館セミナー)

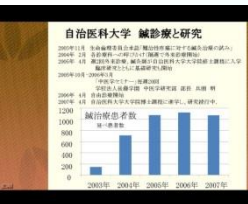
認知症のための施設連携事業

介護付き有料老人ホーム舞浜倶楽部との施設連携



大学への教育支援、臨床支援および連携事業の実績

①自治医科大学麻酔科鍼灸外来設立協力・臨床支援(客員研究員出向)



(元自治医科大学麻酔科瀬尾憲正教授作成)

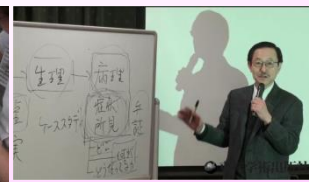
②東邦大学における医師のための鍼灸セミナー(実践東洋医学講座)



③東邦大学薬学部生涯学習講座

- ④日本医科大学東洋医学科外来(研究員、客員研究員出向)
- ⑤岐阜大学医学部東洋医学科(研究員、客員研究員出向)
- ⑥東邦大学医療センター大森病院東洋医学科(研究員出向)

教育事業



- ①学内教育(東洋医学系科目)の充実化
- ②認知症鍼灸教育の充実化
- ③認知症専門鍼灸師の育成事業

教育支援出版事業



教育支援のための翻訳・監修・共著など約30冊以上